

日本語教師養成

説明会を開催します

3/13

【土曜日】

3/27

【土曜日】

4/10

【土曜日】

4/24

【土曜日】

説明会会場 専門学校 湖東カレッジ 日本語科

開催時間 午後2時より(1時間程度予定)



湖東カレッジ
096-365-4577

▲説明会場はコチラ
お気軽にご連絡下さい。



日本語教育 人材養成コース 受講生のご案内

(文化庁届出受理番号:R03021643003)

湖東カレッジ日本語科にて

〒862-0909 熊本市東区湖東1丁目12-26

TEL 096-365-4577

MAIL: r.baba@coto.ac.jp



学校法人 湖東学園

専門学校 湖東カレッジ

日本語科 (日本語教育研究室)

「日本語教師」をめざす!

1977年、NHK国際ラジオ放送の外国人アナウンサーに教えたのが「日本語教師」としての最初の仕事です。その後、ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ連邦大学、新宿の日本語学校で教壇に立ち、平成元年に熊本女子大学(現 県立大学)で、初めて、日本人の学生を対象に授業をしました。日本語教師養成を担当し、あつという間の31年でした。その間に、学内、熊本市内の小学校、韓国、中国、台湾、タイ、インドネシア、アメリカ、トルコ、ポーランド、イギリス、イタリアで教育実習を実施、国内で300名、海外に400名以上を送りだしました。卒業生は熊本、福岡、鹿児島、大分、宮崎、京都、東京、群馬、富山、北海道、韓国、中国、インドネシア、ラオス、ベトナム、アメリカ、メキシコ、トルコなど国内外の多くの日本語教育機関へ赴任しています。

湖東カレッジには日本語科があり、外国人留学生が学んでいます。実習の対象はその留学生たちで、日々の様子を見ておくことができます。また、実習の指導は、その学生をよく知る本校の日本語教師が行います。希望する受講生には、コース外のプログラムとして、海外での教授経験の場をご紹介いたします。

理論科目には、日本語文法、音声、言語学、コミュニケーション、情報、評価などがあります。同じ文法でも、日本人が学ぶものと日本語教師が身に着けるべきものとは大きく異なります。

本コースでは、実技科目はもちろん、理論科目であってもすべての講師が現役の日本語教師か日本語教育を知る研究者です。

日本語学校の中に設置された教師養成コースであり、充実した教育実習プログラムと優秀な講師がそろっています。日本一の日本語教師養成コースを目指します。

専門学校湖東カレッジ 日本語科
日本語教育研究室 室長

馬場 良二



ごあいさつ

日本語教師をめざす皆さんへ



学校法人湖東学園
学園長
森 敏子

専修学校制度が創立されて40有余年の時を刻みました。この間、社会の変化に即応した実践的な職業教育を行う中核的機関として発展を続け、皆さんの夢を叶える職業教育の場として柔軟に対応し、職業人の養成に大きな役割を果たしてまいりました。今なお、幅広い分野に渡り、学習の機会を促進しております。

湖東カレッジは、専門学校の多彩な分野の中で、工業、教育社会福祉、文化教養の専門課程を設け、グローバル化に伴い、留学生も日本の文化を共に学びながら職業人としての学習に励んでいます。

日本語教師を志す方とともに、美しい心を寄せ合い、正しい日本の言葉を通して新しい文化を創り出してほしいと願っております。

これからも社会に貢献できる専門職業人として活躍できるよう、時代に見合う「社会人の学びなおし」を支援して参ります。

日本語教育人材養成コースを通して、実践的な職業能力を身に付け、日本語教師として活躍されることを期待しています。



専門学校湖東カレッジ
校長
福山 壽子

近年少子化が進む日本では、労働者不足、人材不足が問題になっています。それに伴い、日本に滞在する外国人の数も急速に増えています。

本校においては、留学生を中心に日本語教育を行ない、それにともなって、技能実習生、特定技能実習生の外国人にも日本語教育を支援しています。

このような状況のもと、社会のニーズに合った教育が必要であり、外国人が日本で働くためには、専門の科目以外にも学ばなければならないことがたくさんあります。

そこで、少人数で丁寧に学生に対応し、楽しく学べる場としてありたいと願い、知識や技術を習得するだけでなく、社会人としてのコミュニケーション能力を身に着けることが必要であり、また、日本の文化、伝統、習慣を理解し、生活することができるよう、正しい日本語を学んでほしいと願っています。

日本語教師は、やり甲斐ある仕事ですので、多様化する社会に向かって、皆が協力し社会に貢献できるよう、日本語教師養成コースを開講しました。体験してみてください。

日本語教育人材養成コースの概要

募集期間 令和3年3月1日～4月末日まで

募集人員 10名

受講料 50万円



コースの特徴

■ 受講しやすい、11か月間、週末授業

このコースは、5月から3月までの11か月で、授業は、週末の土曜日、日曜日にあります。お勤めの方も無理なく受講できるよう設定しました。

■ 現場教師の指導による 充実した教育実習

「日本語教育の実践2-4」での模擬授業にくわえて、留学生たちの授業見学、教壇実習をコースの中心にすえ、湖東カレッジ日本語科の教師が指導します。

■ 熊本県立大学名誉教授の監修による 本格的な養成コース

このコースは、熊本県立大学で日本語教師養成コースを31年間、運営、実施した馬場良二名誉教授が監修、主要科目を担当し、各領域の専門家と現場の教師が取り組む本格的な養成コースです。文化庁「日本語教育人材の養成・研修のあり方について」の「教育課程編成の目安：表26」、「日本語教育に関する420単位時間以上の養成コース」に準拠し、さらに、教育実習と語学科目を強化した450単位時間のコース。専門的・高度な知識と日本語教育の現場で培われた実践力とを備えた本格的な日本語教師を養成します。

■ 講義科目の講師は、全員、 博士号・修士号取得者

「言語の構造一般」を定利之・京都大学教授、「日本語教育概論」「日本語教育文法」を和田礼子・鹿児島大学教授、「言語と心理」「日本語教育文法」を塩入すみ・熊本学園大学教授、「異文化コミュニケーションと社会」を吉里さち子・熊本大学准教授が担当。講義科目の担当教員は、すべて、博士号・修士号を取得し、かつ、日本語教育を知る専門家です。

■ 日本語科の学校行事にご参加ください

湖東カレッジ日本語科の10月期入学式、2021年度卒業式、校外学習、卒業発表など、各種行事に留学生とご参加ください。肌で感じる異文化理解の実践です。

■ いつでも日本語授業が見学できます

平日の湖東カレッジでは、日本語科で外国人留学生が日本語を学んでいます。日本語教育人材養成コースの受講生のみならず、いつでもそのクラスを見学できます。

—文化庁届出受理番号取得— (R03021643003)

「日本語教育機関の告示基準」に規定する日本語教員の要件として適当と認められ、届出が受理されました。4年制大学の学士を有し、このコースを修了すれば、どの日本語学校でも働くことができます。

履修科目一覧

科目	単位時間	科目	単位時間
世界と日本	4	事例分析	6
日本語教育概論	32	日本語教育の実践2 (初級指導)	30
言語と社会	14	日本語教育の実践3 (中級・上級指導)	24
異文化コミュニケーションと社会	18	日本語教育の実践4 (技能別指導)	16
言語と心理	22	教育実習※	98
日本語教授法	8	言語教育と情報	8
言語教育の基本	16	言語の構造一般	12
評価法	12	日本語分析	18
異文化間教育とコミュニケーション	8	音韻・音声	24
形態・語彙・意味	16	文字・表記	16
日本語教育文法	20	修了レポート	6

※1単位時間は45分です

時間割(例)

	授業時間	土曜日	日曜日
1限目	9:00~9:45	日本語教育概論	日本語教授法
2限目	9:45~10:30	日本語教育概論	日本語教授法
3限目	10:40~11:25	形態・語彙・意味	言語教育と情報
4限目	11:25~12:10	形態・語彙・意味	言語教育と情報
5限目	13:10~13:55	言語と社会	世界と日本
6限目	13:55~14:40	言語と社会	世界と日本



2021年度 年間予定

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8日(土)	5日(土)	3日(土)	7日(土)	4日(土)	2日(土)	6日(土)	4日(土)	15日(土)	5日(土)	5日(土)
9日(日)	6日(日)	4日(日)	8日(日)	5日(日)	3日(日)	7日(日)	5日(日)	16日(日)	6日(日)	6日(日)
15日(土)	12日(土)	10日(土)	14日(土)	11日(土)	9日(土)	13日(土)	11日(土)	22日(土)	12日(土)	12日(土)
16日(日)	13日(日)	11日(日)		12日(日)	10日(日)	14日(日)	12日(日)	23日(日)	13日(日)	13日(日)
22日(土)	19日(土)	17日(土)		18日(土)	16日(土)	20日(土)	18日(土)	29日(土)	19日(土)	19日(土)
23日(日)	20日(日)	18日(日)		19日(日)	17日(日)	21日(日)	19日(日)	30日(日)	20日(日)	20日(日)
29日(土)	26日(土)	24日(土)		25日(土)	23日(土)	27日(土)			26日(土)	
30日(日)	27日(日)	25日(日)		26日(日)	24日(日)	28日(日)			27日(日)	
		31日(土)			30日(土)					
					31日(日)					

講師の概要



馬場 良二

専門学校湖東カレッジ
日本語教育研究室 室長



福山 壽子

専門学校湖東カレッジ 校長
日本語教育室 研究員



定延 利之

京都大学大学院
教授



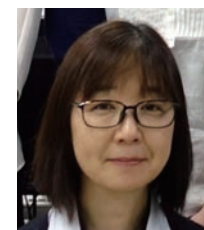
山本 忠行

創価大学・創価大学大学院
教授



塩入 すみ

熊本学園大学 教授



和田 礼子

鹿児島大学 教授



大山 浩美

ヒューマンアカデミー 講師



山川 仁子

尚綱大学 准教授



大庭 理恵子

熊本大学、熊本YMCA、
ワシントン外語学院 講師



吉里 さち子

熊本大学 准教授



宮本 恵美

熊本保健科学大学
准教授



山下 晃

専門学校湖東カレッジ 講師
日本語教育研究室 研究員

日本語教師に求められるもの

自分の日本語を客観的にとらえ、
適切な例文を作り出す力

「日本語教師です。」と言うと、「英語がお上手なんですね。」とか「やっぱり「あいうえお」から教えるんですか?」と聞かれます。

英語は国際語だと言われますが、日本語を勉強する外国人がすべて英語を話すとはかぎりません。それに、日本語について説明できるには、よほどの英語力が必要です。海外の教室では、その国の言語を使うことも考えられます。ただ、やはり相当な語学力が必要になります。そして、日本の教室で教えるのであれば、学習者の国籍、母語はまちまちです。結局、日本語教師は日本語で日本語を教えることになります。だから、日本語の授業の要(かなめ)は、適切な例文です。

少なくとも、私は、「あいうえお」から教えたことはありません。小学校で五十音から教えるのは、子どもたちにすでに日本語力があるからです。日本語が話せる子どもたちに読み書きを教えるのが小学校の国語の時間です。「文字」は「表記」であって、「言語」ではありません。「言語」を表記するための「道具」です。日本語学習者は、その日本語を知らないのです。

「あいつは来るハズだ」と「あいつは来るツモリだ」。みなさんは、〈ハズ〉と〈ツモリ〉の違いを説明できますか?この微妙なニュアンスの違いを使いこなしてはいるけれども、説明はできないことでしょう。それは、日本語が母語だからです。「母語」というのは、使うことはできるけれども、知ってはいないのです。

私たちは、自分の日本語を客観的に見られ、そして、その知見を適切な例文にのせて伝えられる日本語教育人材を養成します。

湖東カレッジは、 多様な文化をもつ 留学生を支援します。



湖東カレッジの沿革

- 昭和28年(1953) 青い鳥(子どもを守る)運動
- 昭和29年(1954) 移動幼稚園の設立
- 昭和30年(1955) 浪速短期大学附設、湖東幼稚園設立
- 昭和39年(1964) 浪速短期大学附設より分離
学校法人湖東学園 湖東幼稚園認可
湖東第二幼稚園設立
- 昭和43年(1968) 西原幼稚園設立
- 昭和44年(1969) 東部幼稚園設立
- 昭和49年(1974) 阿蘇白水村野外研修所開設
- 昭和51年(1976) 九州こども教育総合研究所附設
- 昭和53年(1978) 西原幼稚園に障害児学級併設
姉妹園 社会福祉法人湧光会 せききれい保育園設立
- 昭和54年(1979) 日本情報処理専門学校設立
- 昭和55年(1980) 日本情報処理専門学校に校名変更
- 昭和57年(1982) 日本育英会奨学生(第1回)開始
- 昭和58年(1983) 吹奏楽文化交流(カナダ)
日本情報処理専門学校 児童文化学科開設
- 昭和59年(1984) 浪速短期大学と併修開始
- 昭和60年(1985) 幼児教育こども研修所設立
- 昭和63年(1988) 日本情報処理専門学校 文部省職業教育高度化開発研究指定
西原幼稚園 文部省幼稚園教育研究指定校
- 平成2年(1990) 日本情報処理専門学校 花畑校開校
児童文化学科を幼児指導者養成学科に名称変更
- 平成3年(1991) 通産省 情報人材育成連携機関委嘱校の指定
- 平成4年(1992) 工業専門課程にデザインCAD科新設、CAD実習室設置
- 平成5年(1993) 日本情報処理専門学校唐人町校設立
工業専門課程に情報システム工学科3年課程新設
- 平成6年(1994) 工業専門課程に建設省認定の建築学科新設、建築実習棟設置
幼児絵本出版
- 平成7年(1995) 専門士称号付与
阿蘇山野生学園開設
- 平成8年(1996) 専門学校湖東カレッジに校名変更
専門学校湖東カレッジ唐人町校に校名変更
- 平成11年(1999) 教育センター設置 子育て支援事業充実
文化教養専門課程にクリエイティブ学科新設
専門学校湖東カレッジ 単位制導入
- 平成13年(2001) 文部省 職業教育高度化開発研究指定校(4期目)
湖東カレッジ情報建築専門学校に校名変更
湖東カレッジ教育芸術専門学校に校名変更
日本語教育施設として認定
- 平成14年(2002) 教育社会福祉専門課程 幼児指導者養成学科に変更
文化教養専門課程にデザイン学科、美術学科、放送学科、及び日本語科を新設
- 平成16年(2004) 湖東カレッジ教育芸術専門学校津浦倉舎設立
湖東学園50周年
- 平成18年(2006) 社会福祉法人湧光会 せききれい保育園分園開園
- 平成19年(2007) 教育社会福祉専門課程に人間福祉学科(4年課程)新設
文化教養専門課程の4学科を芸術学科4コースに変更
- 平成20年(2008) 学校法人近畿大学弘徳学園(近大姫路大学・近畿大学豊岡短期大学)と
教育連携開始
- 平成21年(2009) 熊本県工業連合会組込システム活動グループと教育連携開始
日本版デュアルシステム導入
附帯教育事業として基金訓練(職業訓練)開始
- 平成22年(2010) 工業専門課程にIT経済学科を新設
- 平成23年(2011) 専門学校 湖東カレッジに校名変更
専門学校 湖東カレッジ唐人町校に校名変更
教育社会福祉専門課程に幼稚園学科を新設
基金訓練を終了し、求職者支援訓練を開始
- 平成24年(2012) 指定保育士養成施設認定
- 平成25年(2013) 工業専門課程IT経済学科 文部科学大臣「職業実践専門課程」として認定
- 平成26年(2014) 子ども学科・子ども未来学科に名称変更
- 平成28年(2016) 日本語科を湖東校へ移設
- 平成29年(2017) ミャンマーのヤンゴン市に湖東カレッジミャンマーを開校
- 平成31年(2019) 商業実務専門課程に国際ビジネス科を新設
- 令和2年(2020) 専門学校湖東カレッジ 日本語科 日本語教育人材養成コース 新設
- 令和3年(2021)

学校法人湖東学園グループの紹介



- IT経済学科
- 日本語科

専門学校湖東カレッジ
〒862-0909
熊本市東区湖東1-12-26
TEL 096-365-4577



- こども学科
- こども未来学科
- 国際ビジネス科

専門学校湖東カレッジ唐人町校
〒860-0021
熊本市中央区上鍛冶屋町8-2
TEL 096-351-1001

幼保連携型認定こども園



こうとう
〒862-0909
熊本市東区湖東1丁目12-26
TEL 096-368-3144



こうとうだいに
〒862-0911
熊本市東区健軍3丁目36-14
TEL 096-368-2939



にしばる
〒861-8028
熊本市東区新南部3丁目3-51
TEL 096-382-1156



とうぶ
〒862-0918
熊本市東区花立5丁目4-93
TEL 096-368-6423



せききれい保育園
〒862-0911
熊本市東区健軍5丁目1-11
TEL 096-367-3614